

○大規模特定河川事業(令和元年度事業開始、概ね10年間)

あき じぞうじ しなね くさか
安芸川、地蔵寺川、志奈祢川、日下川で対策中

浸水被害が頻発する河川において集中的に事業を実施

背後に多くの住宅を抱える
志奈祢川(高知市)

河道の拡幅により治水能力の向上

改修前

改修後

橋梁も改修

ネックとなる箇所の整備等を急ぐ!



○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3年度から令和7年度)

「5か年加速化対策」により河床掘削・堤防整備などが推進

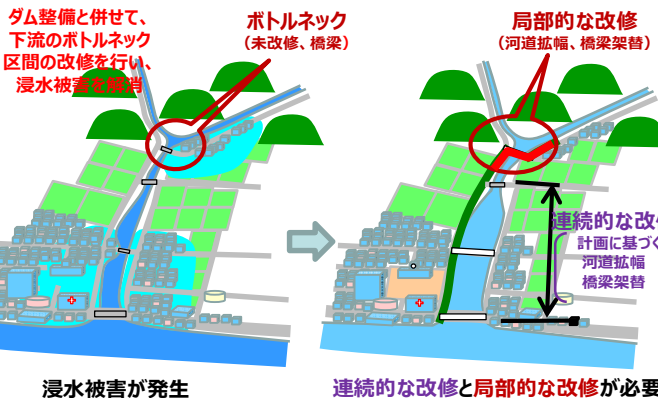
<p>河床掘削・樹木伐採</p>	<p>堤防の強化・河川の拡幅</p>	<p>未整備箇所</p>
<p>かがみ 鏡川浚渫(高知市)</p> <p>浚渫前</p> <p>河積阻害率: 20%</p> <p>しんげき 新丹橋</p>	<p>おくた 奥田川改修(いの町)</p> <p>改修前</p>	<p>やなせ 柳瀬川(越知町)</p> <p>至 佐川町</p> <p>やなのせおち 県道柳瀬越知線</p> <p>至 越知町</p> <p>H26.8台風12号による河川氾濫により道路が冠水</p>
<p>浚渫後</p> <p>しんげき 新月橋</p>	<p>改修後</p> <p>堤防の強化</p>	<p>至 佐川町</p> <p>やなのせおち 県道柳瀬越知線</p> <p>至 越知町</p> <p>整備のため、継続的な予算の確保が必要</p>
<p>河床掘削による流下断面の確保</p>	<p>堤防強化による治水能力の向上</p>	<p>未整備箇所がまだまだあり!</p>
<p>整備が完了(安全・安心を確保)</p>		

政策提言

- ・「大規模特定河川事業」により、**浸水被害が頻発する河川において、抜本的な治水対策を集中的に推進**しています。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、河床掘削・堤防整備などが推進され、**激甚化・頻発化する豪雨に対応する「治水対策」が大きく前進**しています。しかし、県内にはまだ未整備箇所も多く残ります。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の各年度予算を十分に確保するとともに、**令和5年度補正予算についても例年以上の規模での確保**をお願いします。

○地方債制度を活用した局部的な河川改修（緊急自然災害防止対策事業債）
（令和3年度から令和7年度）

ボトルネックとなっている箇所の解消を、**局部的な改修**により、一定期間で集中的に整備



上流のダム建設に併せた**局部的な改修**として、**和食川（芸西村）**



連続的な改修と局部的な改修が必要

○地方債制度を活用した河川・ダムの計画的な維持掘削（緊急浚渫推進事業債）
（令和2年度から令和6年度）

浸水被害の軽減のため、河川やダムを定期的に点検し、掘削や樹木伐採等の適切な対策を行う。

上ノ加江川（中土佐町）



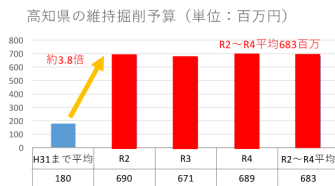
浚渫が完了（安全・安心を確保）

長谷川（奈半利町）



・県では地方債制度を活用し、計画的な維持掘削に必要な予算を確保（市町村も活用）
*浚渫債を活用し、制度前（180百万円）に比べ制度後（683百万円）は約3.8倍を確保

河川の維持掘削予算（単位：百万円）*ダム除く



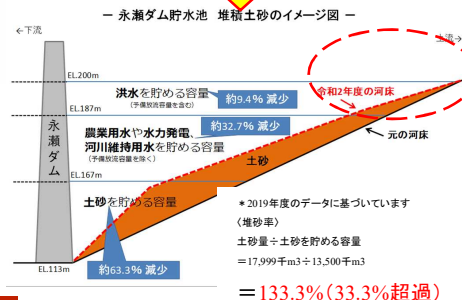
高知県の永瀬ダムにおける現状と課題

- ◆ 近年頻発する豪雨に伴う広域的な山腹崩壊の発生などにより、**ダム貯水池において堆砂が進行**。
- ◆ 令和2年度まで、県単費により維持浚渫等に努めてきたが、土砂流入が**県単費で対応できる量を大きく上回る**。



【本格的な浚渫の促進】

- ◆ 令和3年度から洪水調節容量を確保するため、緊急浚渫推進事業債を活用して、**ダム上流部でこれまでの約16倍となる約7万m³/年の浚渫を実施**

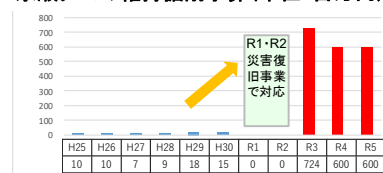


貯水池に堆積した土砂の浚渫状況



山腹崩壊の土砂が貯水池に堆積

永瀬ダムの維持掘削予算（単位：百万円）



緊急浚渫推進事業債を活用することで、堆砂の進行が軽減される

政策提言

- ・「緊急自然災害防止対策事業債」の活用により、**ボトルネック箇所の局部的な改修**が県下各地で進んでいます。
- ・「緊急浚渫推進事業債」の活用により、**河川の計画的な維持掘削、ダムの洪水調節容量を確保するための浚渫**を県下各地で行っています。
- ・これらの事業を推進することで、住民の安全・安心を確保するための、治水対策が大きく進んでいます。
- ・県内にはまだ、対策を実施しなければならない箇所が多く残るため、**有利な地方債制度**が必要不可欠なことから、**制度の延長**をお願いします。